

第二部会例会タイムスケジュール【進行内容】

		担当		
6:45	例会開始	平井	これより、第2部会担当の例会を始めさせていただきます。	
			私の方で司会進行させていただきます。よろしくお願いいたします。	
			まず初めに、部会長より今回の例会について趣旨説明をさせていただきます。	
6:50	趣旨説明	関川	皆様こんばんは。	
			私達2部会は「釧路ZOOおりがみプロジェクト」と題しまして、例会を行って参りたいと思います。	
			名前の通り動物園をテーマにしたものですが、内容については後ほど詳しく御説明をさせていただきます。	
			まずは、 最近の釧路といえば色々な動物が話題になって、注目を集めていると思います。まずは、 くーちゃんは、すごい爆発的な人気になりました。どのようにしてきたのかも色々な推測があるほど謎が多いのですが、 釧路川にラッコがいるということで、全国放送の取材が来たり、各新聞に取り上げられるなど すごい人気で、見物する人が釧路川周辺に集まるようになって、その近くの飲食店などに立ち寄って、MOOでは通常の3倍の売上 になったという風にも言われております。その他、様々な経済的な効果もあったと思います。	
			うちのホテルでもこちら側にラッコがいる時は、レストランを利用する方が増えたりということがありましたし、 それ以上に、便乗して「ラッコ蒸しパン」というのを売りましたが、本当に良く売れました。	
			蒸しパンにチョコレートで目と鼻をちょっちょつとつけて、春雨を髭にしてレストランの女の子が作っただけのものですが、 これも新聞に取り上げられたせいもあって、あっという間に1週間で500ヶ程が売れてしまいました。	
			このように、何が注目を集めるのかもわからず、偶然であるからこれだけのことになるのだとは思いますが 北大通・中心街活性化・MOO再生など色々な方法が考えられ・行われていると思いますが ラッコのおかげで、MOOに何年ぶりに行ったと言う声も多く聞かれ、これはこれとして何かの きっかけになって違う形で今後に生かされれば良いなあと思います。	
			あと、本題ですが、動物といえば勿論 釧路動物園のアムールトラのタイガとココアやホッキョククマのツヨシなど、これも全国的な話題になって います。タイガとココアは初めは3頭生まれ、その内一番小さかった1頭は生まれてまもなく死んでしまったそうですが 残った2頭も脚に障害がある状態で生まれ、 聞くとところによると、本来障害を持った状態で生まれてくると、安楽死させられてしまうそうなんです 初めに偶然発見したのが清掃員の方だった為に今こうして飼育させてこれほどの話題を集めることになって、 当時の伊東市長も「この子達を懸命に育てていく」といった事から、結局は支援の輪も広がり、 支援基金では全国から800万円を超える募金が集まり、新しく動物舎もできたり、ヒートボイスの応援歌も できるなど、全国的な話題性であると同時に、地元の人達も興味を持つことが出来たと思います。動物園にも何年ぶりに 行ったという人も多かったと思います。あと、ホッキョククマのツヨシも、偶然メスだったということで話題を集めて 本当にここ1年を見ると、釧路では「動物」に関係する事で「偶然」起きたことが重なって、注目を 集め、観光客も訪れ、地元の人達はあらためて地域のことを確認できる機会になったと思います。	
			まずは、釧路に住んでいる私達が地域のことに興味も持ち、この地域の持っている良さを一人一人が 他に対してもっと発信していければ必然としてその釧路の良いものを見に・確認しに来てくれると思います。	

			釧路の良さと言えば良く言われるのは、「夏でも涼しい」とか「魚がおいしい」「釧路湿原などの自然が豊か」であるとかですが、まだまだ沢山の他にはない良さがあると思います。その中でも釧路で何をするの？といった時に迷ってしまう場合があるとありますが、今だともしかしたら、「動物園に行ったら」と多くの人が案内しているかもしれませんが、この流れを絶やさず継続的にやっていく為には、地元の人達が動物園に足を運んでいただくのが第一だと思います。	
			このあすなろクラブでも、前に動物園をテーマにした事があると聞きましたが、今回は「PRの仕方」という点から考えてみました。その結果「おりがみ」を利用してできないかということになったのですが、このテーマに決まったのもちょうど、3月例会で配られた「鶴の折り紙」をみて、こんな風に動物園を作って見たらおもしろいのではということで決定しましたが、ありがみといえば、日本人なら一度は	
			やった事があるものだと思いますし、その親しみやすさと、懐かしさから誰でも興味を持っていただけ	
			最近だと、釧路にもアジアの方を中心に外国の方も多く訪れるようになっていきます。おりがみというものは外国にはあまりなく、聞くところによると、日本人がホームステイで外国に行ってコミュニケーションをとる方法として、おりがみをすると喜ばれたりというの聞きますし、成田空港でもおりがみをお土産用に販売していたり、外国人に対しても興味を持っていただけ、日本の人も親しみやすいものだと思います。	
			今は、釧路市動物園もタイガとココア・ツヨシと話題性があり、来場者数も13万人を3年ぶりに超え	
			昨年からも1万人も増えたということで、ちょうど良い流れでもありますし、	
			今一度、動物園を盛り上げて、	
			他からも多くの方々に来ていただくのは勿論ですが、まずは地元の人達に興味を持って頂かなければならないと思います。	
			あの旭山動物園も1996年には入場者数が26万人になり存続が危ぶまれる状況になるまで落ち込みましたが	
			2005年には206万人にものぼる入場者数まで延ばしてきました。その要因で良く知られるのは	
			「行動展示」という方法ですが、動物と人の距離をより近づけ展示させたのですが、これは他からのお客様というより地元の	
			リピーターを増やす為にとられた方法だそうで、その他にもそれまで裏方であった飼育係が直接お客様に接し、ワンポイントガイドが行	
			各々が担当する動物の	
			解説をし、その時の合言葉は「1人の飼育係が10人の味方をつくろう」といって、入場者数が1日4人の日でも	
			こつこつと行われた結果、地元の方がリピートするようになって結局は他からも多くの方が来るようになったということです。	
			勿論、このようなソフト面だけで今の状況にはなっておらず、ハード面でも	
			1997年には予算が1億円もつけられたりと、その後の継続的な整備があったということもありますが、	
			そういった整備する内容もそもそもは、何か長年飼育係が「夢の動物園」ということで、お金があつたらこういった	
			ものが欲しいとかいうものをスケッチにしてあった14枚が原型となって整備が行われていたり結局は	
			そこにいる地元の人や動物園に対して思いが強い人達によって改革が行われ続けられて成功してきたものであると感じます。	
			だからこそ、釧路動物園を盛り上げるにはまずは地元の人たちが動物園に行くということが重要であり	
			日常動物園のことをあまり考えていないという方も、何らかの行ききかけをつくる事ができればと思います。	
			そこでPRの仕方ということが、重要だと感じましたので、「おりがみ」を使った方法で、提案したいと思います。	
			まず先に皆さんに参加していただき、ちょっとしたテストをしたいと思います。	
			内容は、皆さんはよくお分かりだと思いますが、動物園にいる動物の名前についてお書きいただければと思います。	
			時間は10分でお願い致します。一応、豪華景品も御用意しております。宜しくお願い致します。	
			皆さんの、動物園の認識度を確認したいと思います。	
			配られた方からはじめて下さい。	

7:00	ペーパーテスト (会員全員参加)				* テスト配布
7:10	記入時間終了・正解確認 (各隣同士テスト交換採点)	平井	そろそろ時間ですがよろしいでしょうか。 まずは隣どおしテストを交換して下さい。隣の方のテストをチェックして下さい。		
			* 正解発表・動物の特徴を織り交ぜながら正解発表(別紙用意)		
			優勝者景品(釧路市動物園通年入園券800円ペア)		
			* 正解(大)パネル準備(正面ステージ上)・・・正解発表時に掲示		
			* 動物写真をスクリーンにて放映(正解発表にあわせて)		
7:25	釧路ZOOおりがみ プロジェクトについて説明	結城	それでは、本日のテーマであります「釧路ZOOおりがみプロジェクト」について説明をさせていただきます。 こういった、折り紙セットを作成をしたいと考えました。中に入ってます、動物園のレイアウト図を広げて、その上に動物折り紙を 折って、配置をしていくと、出来上がりは、動物園のミニチュアが出来上がります。今回わかりやすく、拡大したものを御用意しました。 このように、どこにどの動物がいるのかも大体わかりますし、折り紙を1つずつ折っていくと段々動物園が出来上がってきますので 小さなお子さんは興味を持ってやって頂けると思いますし、年配の方は、折り紙を懐かしく折って頂けるのではないかと思います。	* 動物折り紙セット披露	* 展示物披露
			あと、ホッキョクマの子供が生まれたとか、動物園ニュースや行事予定などを一緒にいれて、今動物園で何があるのか？ 今度、これを見に行こう！というような、情報発信のツールとして活用していければと思います。		
			まず、この折り紙セットは地元の人に配布し、やはり地元の人に動物園に興味を持って頂くことが第一だと考えました。 釧路に住んでいい私達が、動物園に対して、愛着を持ち、自分たちの動物園なんだという意識をもつことによって 自分自身も動物園に行こうとするでしょうし、そうではなくても他から来た方に対して、動物園を紹介できるようになると思います。		
			なんとか、この折り紙セットに触れる機会を多く作っていった継続的に興味を持って頂き、この折り紙セットを見て、 作りながら動物の話をし、動物園にこんな動物がいたんだ・・・とか、動物園のことを話していただく ことを少しでも作っていただければいいなあと思います。こうして時折動物園のことを考えてくれれば、必ず 何か動物園に要望があれば意見もだしてくれるような環境ができるのではないかと思います。		
			実際どのようにしてこういった折り紙になるか、今日は皆さんにも、折って頂きたいとおもいますので、いきなり表を見ながら折るというのは 大変なので、一つ一つ説明をしながら折っていききたいと思います。		
7:35	おりがみ実演・講習 (時間を見て2・3種類)	永田	折り方パネル用意(会員へお披露目・搬入)「こんなに楽しいんだという事をアピール」 折り方資料 各会員へ配布 第二部会会員は、会場内にて折り方指導・補助	* 折り方表配布 * 折り紙配布	

			折り紙を楽しく、行えましたでしょうか？色々苦労されて作られていたとはおもいますが、	
8:00	部会例会終了	平井	どちらにしても、こうして何かのきっかけで地元の人が動物園に興味を持って頂くことが何より重要であると思います。	
			今期のテーマであります「釧路の今。そしてこれから」という点からも、これから釧路はどのように進んでいくのか？	
			何が必要になっていくのか？と色々考えますが。まずは動物園を通して、地元の人が地域にある良いものをもっと知っていき、	
			より自信を持って情報を各自が発信できるようになれば	
			他の地域からも、沢山の人が来て頂ける様になるでしょうし、結果的に賑やかで活気のある街をつくっていけるのではないかと思います。	
			地元の人達が、様々な考え、こういった小さな事を積み重ねていくことが大きなことであると思います。	
			今後の進行方法では、例えば小学校入学児童に配布したり、養護施設の方々	
			に配布したりして、周知させていき、最終的には、動物園などでお土産用に販売できる形がなればと思います。	
			まだまだ、様々な点で解決していかなければならない事が多いと思いますし、	
			金銭的な問題もありますが、私達部会としても、今後も出来る限り検討し続けてまいりたいと思います。	
			以上、第2部会発表とさせていただきます。有難うございました。	
			本日実演しましたおりがみの折り方表をお持ち帰りいただき	
			御自宅でもお楽しみいただければと思います。	